

ぬまた 市議会だより

第61号

3月定例会

令和3年
5月1日



東京オリンピック聖火リレー 沼田公園で行われたトーチキス



新しい沼田へ

内容 3月定例会
令和3年度予算 など



沼田市議会HP

3月 定例会

3月定例会は、2月25日に開会し、3月19日までの23日間、令和3年度当初予算、令和2年度補正予算、条例の制定・改正、監査委員の選任同意など計46件と、市議会委員会条例及び会議規則の改正、請願2件、意見書2件を審議しました。また、11人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

債権管理条例で

債権を一元管理

市税や保育料、市営住宅使用料など市債権の適正管理を行うため、統一的な処理基準を定め、生活困窮者への徴収停止や債権放棄などの基準を合わせて定めました。さらに市債権管理の一元化を図り、より効率的、健全な行財政運営に努めます。

国民健康保険税・

介護保険料を改正

将来にわたり安定的な国保運営を図るため、国民健康保険税の所得割額、均等割額及び平等割額の税率を引き上げました。

また、介護保険事業計画の3年ごとの見直しに伴い、介護保険料率の改定を行いました。第1号被保険者の介護保険料の基準額を、年額74,300円から74,900円への改定、現

在の10段階の所得段階を維持しながら、合計所得金額の見直しを行います。

※改訂後の詳しい税率や金額は市ホームページや広報ぬまた等をご覧ください。

令和2年度補正予算

国県支出金の確定、事業費の確定等による歳入歳出予算の整理を行い、一般会計予算を7億9,760万2,000円減額しました。また、この減額とは別に、新型コロナウイルス感染症対策に要する費用4億8,138万2,000円を追加しました。主な内容は、電子地域通貨発行に要する委託料及び負担金の追加と、学校教育活動継続支援事業による市内小中学校における新型コロナウイルス感染症予防に要する消耗品や備品等の購入費用の追加です。

震災被害者に黙とう

東日本大震災から10年の区切りとなる3月11日、議場において黙とうを行いました。

この甚大な被害をもたらした震災を教訓として、市民の命と生活を守ることを第一に、今後いつ襲ってくるかわからない自然災害に備えるべく、防災対策に全力を尽くします。



3月11日に行われた黙とう(写真提供 週刊利根社)

2件の意見書を国に提出

安全・安心の医療・介護体制を確立し国民のいのちと健康を守るための意見書(要旨)

国民のいのちと健康、暮らしを守るためにも、そして新たなウイルスの感染拡大や自然災害

などの事態が発生した際に経済活動への影響を最小限に抑え込むためにも、医療・介護・福祉、そして公衆衛生施策の拡充は喫緊の課題です。

以上の点から、国民が安心して暮らせる社会実現を強く要望します。

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書(要旨)

全国一律最低賃金制度を実現して最低賃金の地域間格差を是正し、最低賃金を抜本的に引き上げることが重要である。併せて最低賃金の引上げに当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響の大きさを考慮し、とりわけ、経営基盤が弱く、雇用維持に懸命な努力をしている地域の中小企業への支援の強化が求められる。

全国一律最低賃金制度実現による最低賃金の引上げと、中小企業支援の抜本的拡充を実施するよう強く求める。

人事案件

・固定資産評価審査委員(同意)

諸田 裕氏

・監査委員(同意)

荒井 静雄氏

社会教育施設からコミュニティ施設へ

公共施設等総合管理計画 により中央公民館を廃止

令和2年度末をもって中央公民館を廃止する条例を可決しました。中央公民館で行われていた文化芸術活動は、テラス沼田や市保健福祉センター、利根沼田文化会館などが利用できます。

地区公民館を コミュニティセンターへ

また、6地区公民館を「コミュニティセンター」とする条例を可決。今後は、地域住民の連帯意識を高め、心豊かなコミュニティ形成の促進を図り、持続可能な市民協働のまちづくりを推進する拠点となるコミュニティセンターとして運営されます。

中央公廃止に伴い新施設の 建設を求める請願を採択

「沼田市中央公民館廃止・除去に伴う新施設の建設を求める請願」が市文化協会・市学術協会から提出され、総務文教常任委員会で審査を行いました。

常任委員会で賛否が分かれ、委員長裁決により採択。本会議においても賛否が分かれましたが、賛成10人、反対9人で採択となりました。

公民館廃止に反対

市民を巻き込んだ、充分な議論・検討がなされていない現時点の公民館廃止はあまりに早急。今後の公民館、コミュニティセンター活動がいかにあるべきか、市民と共に議論すべきです。

公民館廃止に賛成

今回の廃止条例は、未来志向の再構築です。これまでの機能や役割に加え、まちづくりや福祉部門へも、柔軟に対応を可能とするための条例改正に対し、賛成の意思を表明します。

コミュニティセンターに反対

政治活動の自由を保障する憲法に抵触するおそれがあります。指定管理者は、社会教育、生涯学習の機能を引き継ぎ、教育委員会とともに運営を行っていくうえで問題があると思われます。

コミュニティセンターに賛成

地域住民の連帯意識を高めることやコミュニティ形成の促進、市民協働のまちづくりを推進することは、共助によるまちづくりを推進することにつながり、沼田市にとって必要な視点です。

請願に反対

横山市政において推進されてきた「公共施設等総合管理計画」の基本方針は、「次世代に大きな負担を残さない」ことです。

沼田市中央公民館の除去に伴う新施設の建設を、「次世代」を担う方たちは、本当に望んでいるとお考えか、まず、議員諸氏に問いたい。

請願に反対

当事者「以外」の市民の方々の「声なき声」にも思いを馳せ、さらに次世代を担う子どもや孫の世代へ視線を移し、大きく変化する社会情勢下にあっても「これからの時代に求められる公共の担い手のあるべき姿」へと、心を開いたバランス感覚を忘れてはならないと考えます。

廃止・コミュニティセンター！請願

分かれる賛否

請願に賛成

情報の出し方が余りにも唐突で、方針が優先され議論の余地を与えない進め方で理解を得るのは難しいと思います。本請願書に対して、当局が即決で方針を示せない状況にあるなら、請願2団体3、800人の想いを受け止められるのは市議会しかなく、それが政治に求められる役割です。

請願に賛成

今後の沼田市の社会教育施設の在り方に関して、十分な議論のないまま、自分たちの意見が反映されることなく活動拠点である中央公民館の除却が決定してしまつた事に対し、文化協会、学術協会が多くの関係者の想いを代弁したものであると考えます。

令和3年度予算

予算審査特別委員会

特別委員会は、令和3年度予算関連議案を審査することを目的として、正副委員長にそれぞれ星野妙子議員、三ツ石岩男議員を選出して、延べ6日間に渡り審査しました。

審査で、主要な施策に対して予算がどう活かされるのかなど、延べ34人が213件の質疑を行いました。

令和3年度予算については、市民の防災意識の向上や感染症対策に対応した防災訓練の実施、指定避難所の安全確保、新型コロナウイルスワクチン接種の実施時期や体制、3・3・1環状線（栄町工区）事業の実効性や事業費に対する県費及び国費の負担割合、GIGAスクール構想に基づく新たな小中学校教育のあり方、武道場の供用開始時期や活用など、重要施策に関するものを中心に質疑が行われました。

議会が選ぶ令和3年度予算重要事業（抜粋）

 <p>新型コロナウイルス 感染症ワクチン接種事業</p> <p>ワクチン接種シミュレーション</p>	<p>予算額 2億2,500万円</p> <p>令和2年度から準備を進めている「新型コロナウイルスワクチン接種事業」を16歳以上の接種を希望する市民を対象に実施します。クーポン券が届いた方の予約受付は5月11日からです。</p>
---	---

<p>予算額 5億2,100万円</p> <p>昨年12月に導入実証実験を開始しました、沼田市電子地域通貨tengooを継続して運用し、地域経済の活性化・キャッシュレス化の推進を図ります。</p>	<p>電子地域通貨事業『tengoo』</p> <p>市内のお店でお得に買い物を楽しもう</p> <p>5月は、 『tengooチャージ』 プレミアム率25%!!</p> <p>ぜひご利用ください。</p> <p>※経済応援！tengoo春のプレミアムチャージキャンペーン実施中！6月もプレミアム率10%！ 詳しい事業内容、利用方法、キャンペーン情報などは市ホームページをご覧ください。</p>  
---	---

予算に反対

(一部抜粋)

国民健康保険税の引き上げは、コロナ禍で収入が減少し苦しむ被保険者に追い打ちをかける仕打ちです。コロナ禍における被保険者の収入減少による歳入減は被保険者の責任ではありません。見切り発車的な今回の国保税の引き上げは中止すべきです。介護保険料は、多くの自治体がコロナ禍の影響を考慮して今回は引き上げを自粛しており、本市においてもそのような処置にすべきでした。

予算に賛成

(一部抜粋)

新型コロナウイルス感染症による市民生活への影響が多大であり、新年度もまだまだ予断を許すことができない状況であります。新年度予算では新しい生活様式への転換と経済活動の回復・向上に資する施策の充実が図られ、市民にとって安全・安心なまちづくりが推進されていることがうかがわれます。こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できる沼田市となるよう期待し、賛成討論とします。



防災対策事業

自主防災会による避難所運営訓練

防災備蓄品

防災減災対策のため、地域住民の皆様に参加していただく地域防災訓練や、自主防災会などで防災出前講座を実施し、地域防災力の向上を図ります。

また、防災備蓄物資を購入します。

市街地の円滑な交通ネットワークの形成、地域経済の発展及び市民活動の活性化等を図るため、都市計画道路、3・3・1環状線の整備を進めます。

3・3・1環状線(栄町工区)事業



工事が進む3・3・1環状線(写真は利根実業高校横)

武道場整備事業



(仮称)沼田市武道場 完成イメージ

沼田公園内の沼田武道場及び沼田小学校講堂記念体育館の代替施設として、柔道、剣道、空手道、卓球、ウエイトリフティング競技のほか、施設に影響を及ぼすことがないような競技の利用についても検討しています。

市政を問う！

一般質問

市のさまざまな課題等について、議員が提言も含めて市に考えを問うのが「一般質問」。質問内容は、議案とは関係なく各議員が自由に決めます。ここでは、各議員が自ら編集したダイジェスト版で質問内容をお伝えします。QRコードからは、各議員の一般質問録画映像がご覧いただけます。

戸部 博	市勢発展のための課題解決を！
中村 浩二	男女がともに参画できる環境の構築
茂木 清七	コロナ禍における元気創生のまちづくり
山宮 敏夫	新防災マップの利活用と今後の沼田市
星野 妙子	円滑なコロナワクチン接種体制を
桑原 敏彦	地球温暖化対策と地域新電力による活性化
大東 宣之	新年度予算、国保税、生活保護、少人数学級
金子 浩隆	コロナ禍から市民の命と生活、経済を守る
井上 弘	生きがいをもって生活するための介護予防を
高柳 勝巳	コロナ禍支援への継続強化とワクチン接種
井之川博幸	公民館廃止後も生涯・社会教育の推進を！

スマホから議会を見よう！
議会インターネット中継
 文章では伝わらない、生の議会を映像でご覧ください。



◀ 議会中継
 会議名や議員名を選んで視聴できます。

市勢発展のための課題解決を！

戸部 博



Q 森林経営管理制度の推進に係る市の基本的な考え方について伺います。

A 森林経営管理制度を適切に運用することで、林業の持続的発展と森林資源の適切な管理に向けた推進が図られるものと考えています。

Q 森林経営管理制度関連事務の進捗状況について伺います。

A 現在、森林所有者から森林経営管理権集積計画の同意取得に向けて作業を進めています。

Q 市では実施方針の策定と優先すべき戦略についてどのように捉えているか伺います。

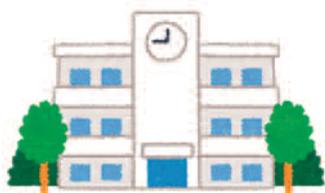
A 森林経営管理法の目的である林業の持続的発展及び森林の有する多面的機能の発揮に資することを念頭に、研究していきたく考えています。

Q 東京オリンピック・パラリンピックに係る聖火リレー及びドイッフェンシングチームのホストタウンとしての受け入れ準備の状況について伺います。

A 聖火リレーについては、組織委員会から示された感染症対策やガイドラインに沿って、聖火ランナー、ボランティアスタッフなどの運営関係者や観覧客の感染防止対策を徹底し、安全に実施できるよう準備を進めていきたいと考えています。ホストタウンとしての受け入れについては、マニュアルの作成など、事前合宿を実施する準備を進めています。

Q 10年後の小中学校の配置について、研究・検討する時期にきていますが、どのように対応していくのか教育長に伺います。

A 今後の児童生徒数や学級数の推移、地域住民の方々の考えや思い、国や県の動向などを考慮しながら、今後も慎重に研究を重ねていきたいと考えています。



男女がともに参画できる環境の構築

中村 浩二



コロナ禍における元氣創生のまちづくり

茂木 清七



Q一人ひとりが尊重され支え合うまちづくりについて伺います。

A男性と女性が対等なパートナーとして、その個性と能力を發揮し、いきいきと暮らすことのできる社会の実現に向け、引き続き意識啓発や教育に取り組んでいきたいと考えています。

Q市民が協働し、あらゆる場に参画できるまちづくりについて伺います。

A審議会等の女性の登用、就労条件・労働環境に関する啓発と改善、男女がともに個々の才能を發揮できる地域社会の形成など、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。

Q互いに認め合い、安心して暮らせるまちづくりについて伺います。

Aすべての人が人権侵害や暴力から解放されるための啓発や被害者支援、高齢者や障害者、外国人が安心して社会と関わることを可能とする取組など、今後も継続して取り組んでいきたいと

考えています。

Q各団体や地域・地区からのハード的事業の要望等に対する対応について伺います。

A建設関連事業の要望は、毎年各地域や地区から多く提出されていますが、事業の実施については、緊急性や重要性を考慮したうえで、優先順位により工事を行っています。

Q平成17年2月の合併前後の白沢・利根のハード的事業等への対応について伺います。

A合併時の調整で中止や継続なしと判断された事業についても、地域で必要と判断され、引き続き要望をいただいている事業もありますので、今後も検討・研究していききたいと考えています。



重量が制限されている利根町の千歳橋

Q国内における沼田ブランド産品の販路拡大について伺います。

A「ぬまたマルシェオンライン」開設による販路拡大に取り組んでまいりましたが、今後も宣伝と販路開拓の可能性について調査研究していききたいと考えています。

Q地域通貨てんぐーの実証実験の経過と今後の取組について伺います。

Aてんぐーは、3月1日現在で加盟店295店、利用者2901人、利用金額は1億3,619万円、物販が93%、飲食が5%、残りが体験・観光・宿泊となっています。

Q長期間における緊急事態宣言やGOTOトラベル中止の影響への市の支援策と再開後に向けた取組について伺います。

A周遊バスツアー誘致やぬまたんちケット発行による誘客事業は一時中止となりました。厳しい経営を強いられる宿泊業や観光事業者への支援については、引き続き検討していき

と考えています。

Qテラス沼田1階南側テナント区画の活用について伺います。

A2月24日に(株)ライズトランスポーツが優先交渉権者に決定しました。新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、出来るだけ早急に賃貸契約を締結したいと考えています。

Q久米邸移築の進捗状況と今後の展開について教育長に伺います。

A現在、現地での解体工事は完了し、移築予定地を確保したところですが、今後は、保存管理計画の検討、設計を経て、工事着工する予定です。

※その他の質問：部活動指導でのアンガーマネジメント



旧久米邸(東京都渋谷区)

一般質問

新防災マップの活用と今後の沼田市

山宮 敏夫



Q新防災マップと災害時の官民連携について伺います。

A新防災マップを3月15日に全戸配布を行う予定となっております。周知方法については広報掲載や防災出前講座により周知に努めていきたいと考えています。また、災害時の感染症対策についても避難先での感染予防対策を明記しています。

災害時における官民連携は、大変有効な手段であると認識しており、積極的に協定締結を進めています。

Q沼田市におけるデジタル化について伺います。

A令和2年3月に策定した第2次市政改革大綱実施計画において、スマート自治体の推進を掲げ、社会の情報化に対応した高度な行政サービスを提供するとともに、行政情報システムのコスト削減、業務の効率化を図るため、情報保護に十分留意しつつ、デジタル技術の導入についても検討していきたいと考えています。



各戸配布された新しい防災マップ

います。

Q今後の観光誘客について伺います。

A現状の様々なイベントに関して、関係機関等と協議を行いながら、安心安全なイベント開催について、国・県等のイベント開催基準を遵守し、新たなイベントも含め検討していきたいと考えています。

Qスポーツ環境整備について教育長に伺います。

A屋外施設は、冬季に使用中止せざるを得ないなど、利用に制約が生じてしまう面もあります。引き続き、利用しやすい施設として維持管理に努めていきたいと考えています。

円滑なコロナワクチン接種体制を

星野 妙子



QDV（家庭内暴力）が懸念される中、昨年6月議会で提案した「配偶者暴力相談支援センター」設置に向けた研究の進捗と対応について伺います。

A昨年、県内11市及び設置済み2町へアンケートを実施し、さらに安中市・藤岡市に視察を行い研究を進めています。本市の相談状況から庁内関係各課、県女性相談センターとの情報共有を密にするとともに、DV被害者への支援を行うNPO法人との連携を強化し、対応していきたいと考えています。

Q市民の関心事である新型コロナウイルスワクチン接種体制の進捗と面積の広い本市における課題への対応について伺います。

A国や県の指導のもと準備を進めています。また、集団接種と平行して病院等での個別接種実施についても沼田利根医師会と協議を進めています。接種に向けた会場設営、医師・看護師の派遣調整、クーポン券の発送、

予約・相談に対応するコールセンター設置等に順次取り組んでいます。国からのワクチン提供に応じた接種事業の推進に努めていきたいと考えています。

面積の広い本市の課題は、接種会場への来場手段と考えていますが、送迎等の支援を視野に入れ、接種体制を構築していきたいと考えています。

Q利南東小学校通学路の安全確保について教育長に伺います。

A危険箇所については、小学校や市建設課へ連絡し対応をお願いしています。区長やPTAと連携し、子どもたちが安全に登下校できるように、引き続き対応・協議していきたいと考えています。



円滑なワクチン接種体制を

市政を問う!!

地球温暖化対策と地域新電力による活性化

桑原 敏彦



Q地域特性を踏まえた再生可能エネルギーの積極的な導入が必要と考えます。公共施設への太陽光等の設置計画について伺います。

A民間提案制度において「公共施設太陽光無償設置プロジェクト事業」を採用し、太陽光発電設備設置に向け協議中です。

この事業は、事業者が公共施設の屋根に太陽光発電設備を無償で設置し、屋根の賃料や固定資産税による市への財政面での貢献及び非常用コンセント提供により停電時における避難所の機能強化に資する事業です。現在、小中学校を中心に16施設への設置を協議、検討しています。

Q沼田市においてもエネルギーの地産地消を拡大し、特性に応じて設備導入やシステム構築を進める事が重要で、地域内工コシステムは、市民の生活を守る重要な手段です。地産地消分散型エネルギーシステムの構築について伺います。



A地産地消分散型エネルギーシステムは、地域内で発電した電力を地域内で消費することから、その資源と資産の循環により地域内の活性化が図られ、併せて災害時における非常用電源としての活用も見込まれ、目指すべき一つの形であると認識しています。

現在、災害時における指定避難所である学校施設に、通常時には発電電力を自家消費し、災害時には避難所における電源の確保を目的とし、太陽光発電と蓄電設備を導入しています。地産地消分散型エネルギーシステムの構築にあたっては、今後様々な検討をしていきたいと考えています。

新年度予算、国保税、生活保護、少人数学級

大東 宣之



Q新年度における新型コロナウイルス感染症対策をどのように進めるのか伺います。

A新型コロナウイルスワクチンの予防接種や、感染予防を意識した新しい生活様式に取り組んでいただけよう普及啓発を継続し、これまで実施した感染予防対策の充実を図っていきたくと考えています。

Qコロナ禍における国民健康保険税率改定による市民生活の影響について考えを伺います。

A被保険者の方々の負担になることを十分に承知しています。が、国民健康保険の運営は、被保険者の相互扶助の精神により成り立っており、医療保険制度の安定的な運営を行うための苦渋の決断です。

Qコロナ禍、高齢化の中での生活保護の対応について伺います。

A生活保護が必要になったとき、多くの場合、自動車の保有の問題があります。コロナ禍の影響や他の理由により職を失うなど、

一時的に困窮した場合は、一定の条件はありますが、自動車の処分指導を保留しています。また、高齢で生活費や介護にかかる費用の捻出が難しくなるような場合でも、安心して生活できるように相談に応じています。生活保護を行うにあたっては、相談者、申請者に寄り添い、他法・他施策を併用しながら、その人に最善の方法を模索し、対応していきたいと考えています。

Q少人数学級について、子どもへのきめ細かな対応はどのようにされるのか教育長に伺います。

A児童生徒に寄り添って、不安や悩みなどに対する生徒指導や教育相談など、一人ひとりに応じた、より丁寧な対応を継続していくよう取り組んでいきます。



一般質問

コロナ禍から市民の命と生活、経済を守る

金子 浩隆



【Q】新型コロナの感染拡大、東京オリンピックの延期、外国人観光客の激減で、ホテル業界は危機的状况にあります。ホテルルートインとの正式契約はその後どうなっているか伺います。

【A】首都圏などでの緊急事態宣言発出やGOTOトラベルの実施延期などの状況悪化により、現時点での正式契約には至っていませんが、計画実現に向け、ルートイン開発技術者による現地確認や実施設計に向けた打ち合わせなどは継続して進めています。

【Q】コロナ禍の中での相次ぐ市職員の不祥事に、モラルハザードを引き起こしているのではと、市民は大変心配しています。市職員が飲酒運転で事故を起こした事実関係を伺います。

【A】本市教育委員会の職員が令和3年1月10日、飲酒をして自家用車を運転し、民家に衝突する事故を起こしました。このような不祥事はあってはならないことであり、行政処分審査委員会

において審査、答申し、厳正に対処しました。市職員の不祥事が続いたことは誠に遺憾であり、市民の皆様、議員各位に多大なご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。

【Q】官製談合事件。あってはならない不祥事がありました。事件の再発を防止するための、その後の対応、状況を伺います。

【A】このたび、職員が官製談合防止法違反等の容疑で逮捕、起訴されたことを重く受け止め、入札及び契約手続における公平性の確保、客観性及び透明性の向上を図ることを目的として、第三者で構成する入札監視委員会を設置することとしています。



解体工事が終わった旧市役所跡地

生きがいをもって生活するための介護予防を

井上 弘



【Q】地域の中に生きがい・役割をもって生活できるような居場所と出番づくりを支援する介護予防の実現には、地域の実情をよく把握している、地域づくりの中心である市町村が主体的に取り組むことが不可欠です。介護予防を進めるための重要な事業である介護予防・日常生活支援総合事業の充実にどう取り組んでいるのか伺います。

【A】策定を進めている第8期生き生き長寿のまちづくり計画において、これまで同様に利用者のニーズを捉えながら適切な介護保険サービス提供を行い、介護予防・日常生活支援総合事業等のさらなる充実を図っていきたいと考えています。



—SDGs—

【Q】SDGsの『誰一人取り残さない社会』の実現のため、様々

な意識改革が必要だと考えますが、市職員、住民の意識改革にどう取り組むのか伺います。

【A】SDGsの名札や名刺の活用などの提案が出されるなど、職員の意識にも変化が見られます。先進事例なども参考に、意識改革について検討していきたいと考えています。

—デジタル人材—

【Q】デジタル人材は、DXの推進が求められる中で絶対に必要な、最優先で確保すべき人材であると考えます。日本全体がデジタル化に向かって進み、自治体のデジタル化が求められる中、デジタル人材の必要性についてどう考えか伺います。

【A】デジタル技術活用による市民サービス向上や業務改善等を推進するには、デジタルに関する知識はもとより、行政が担う業務を把握し、横断的に調整することができると考えられています。

市政を問う!!

コロナ禍支援への継続強化とワクチン接種

高柳 勝巳



Q内閣府調査では、昨年度のDV相談が最多の13万件を超えたと報じられました。困難や困窮状況の長期化に伴い、経営不振、雇用不安により、孤独・孤立化によるストレスも積み重なり、DVや児童虐待も目を追うことに増加していると認識しています。さらに困窮世帯が増加する中で、フードバンクや子ども食堂などの利用状況と「社会的セーフティネット」への充実強化策について伺います。

Aフードバンクは、「NPO法人フードバンクぬまた」を中心に、本市及び沼田市社会福祉協議会で協力しながら行っています。生活困窮者への支援は、本市独自施策である「生活困窮世帯特別支援金」を支援し、コロナ禍の影響が軽減できるよう努めてきているところです。

Qワクチン接種について、厚生労働省のQ&Aにも掲載されているように、効果の持続期間も明らかになっていません。ワクチン接種を推奨するあまり、「強制」であるかのようなケースが起きてはなりません。コールセンターを含めて親切丁寧な説明と本人納得の上での「安心実施」が望まれますが、その考え方について伺います。

チン接種を推奨するあまり、「強制」であるかのようなケースが起きてはなりません。コールセンターを含めて親切丁寧な説明と本人納得の上での「安心実施」が望まれますが、その考え方について伺います。

Aファイザー社のワクチンは新型コロナウイルスの発症予防効果は約95%、重症化の抑制にも効果があることが実証されています。副反応等についても、効果とリスクについて情報提供を行うとともに、接種は努力義務で強制ではないということも周知を図り、市民が適切に判断し、希望する人が接種できるように体制整備に努めていきたいと考えています。



公民館廃止後も生涯・社会教育の推進を!

井之川 博幸



Q地区公民館廃止後の生涯学習の振興と社会教育の推進への影響について教育長に伺います。

A地区コミュニティセンターの地域住民の主体的な学習に引き継ぎ、これまでと同様に推進していきたいと考えています。

Q「社会教育を推進していく地方公共団体の任務」を果たすための検討について教育長に伺います。

A移行後も生涯学習及び社会教育事業に大いに活用し、地区コミュニティセンターとの連携を図っていききたいと考えています。

Q中央公民館除却に伴う利用団体の代替施設への要望には、どの程度対応できているのか、また、納得している団体数について教育長に伺います。

Aこれまで106団体全てに代替施設を紹介し、必要



コミュニティセンターになる薄根公民館

な設備等について要望を聞き、概ね対応はできていると考えています。代替施設の設備には引き続き対応しているところで、料金設定案については、各利用団体に案内し、概ねご理解いただいているものと考えています。

Qコロナ禍における飲食店以外の企業・事業者への支援について伺います。

A「沼田市飲食店支援金」の交付を開始しましたが、他の支援施策については、電子地域通貨でんぐーを活用した経済活性化施策を中心に進めていきたいと考えています。

Q中小企業振興基本条例の作業状況と新しい時代や状況をどのように反映させるのか伺います。

A制定作業はコロナ禍で中断せざるを得ず、中小企業を取りまく環境が大きく変化している中で、地域経済についてしっかり調査した上で、早期の完成を目指し作業を進めていきたいと考えています。

議会改革

報告

沼田市議会では、令和元年5月から議会改革特別委員会を立ち上げ、議会の改革に取り組んできました。議会改革特別委員会最終報告の概要を掲載します。

議会改革特別委員会

3月定例会最終日に委員長から結果報告がされました。報告は、今回の改革で、すべての議会改革が終了するものではなく、議会基本方針に掲げられているとおり、不断の努力と見直しの過程での一区切りという位置付けでまとめられました。

【議会改革3本の柱】 「議員定数及び常任委員 員会数の適正化」

常任委員会については、今までの3委員会を維持し、また少なくとも6人の委員定数を確保させ、かつ議長も常任委員会に所属させるべきといった意見が大勢を占め、この体制を維持するための最小限の議会構成を考えた場合、本市の議員定数の適正数は、18人と結論付けました。



3月19日に議会ICT研修を行いました

しかしながら、議員定数は、市民の多様な意見を、より正確に反映させることができる規模が必要で、現在の定数を減員すべきではないといった主旨の反対意見もありました。
令和2年9月定例会では、定数を18人とする議員定数条例及び委員会条例の一部改正条例が提出され、賛成多数で可決されています。

「議会報告会、意見交換会等の広報広聴活動」

議会基本条例の基本理念に沿って、市民の声を市政に効果的に反映させる目的の達成のため、市民参加を推進する議会の具体的な取組として、議会報告会、意見交換会等の広報広聴活動を積極的に実施していくことで、全委員の意見が一致しました。

この具体化のため、広報広聴委員会を設置し、さらに検討を進めていきます。

「常任委員会・委員協議会のあり方及び発言制限」

会議の公開化及び本会議等における発言制限の撤廃について、令和3年1月4日付、議長から議会運営方針を一部変更する旨を市長宛てに通知し、今議会において試行的に実践を開始しました。

次回定例会の日程

次回定例会は、6月1日（火）からの予定です。
インターネット中継も行っています。



編集後記

昨年3月初旬、群馬県内で新型コロナウイルス感染症が確認されて以来、未知のウイルス感染症への不安に神経を注ぐ日々となりました。

これまで、沼田市議会は、市民皆様の安全・安心な生活を守るため、3常任委員会から35項目の提言をまとめ市長に提出するとともに、議員報酬・行政調査に係る旅費等846万円を減額し、コロナ支援の財源の一部としました。

新型コロナウイルス感染症予防の切り札と期待されるワクチン接種がいよいよ実施となります。面積の広い本市の課題である接種会場への送迎等の支援をはじめ、高齢者、障がい者の方々への適切で円滑なワクチン接種体制を実施するべく準備が進んでおります。

未曾有の危機を市民皆様、市当局、市議会と共に支えあい乗り越えていきたいと思っております。

副委員長 星野 妙子

議会だより編集委員会

委員長 井上 弘
副委員長 星野 妙子

委員 高柳 勝巳 永井 敏博 高山 敏也
山宮 敏夫 大東 宣之 戸部 博